

# 荒川区感染症予防計画（令和6～11年度）の概要

## 1 概要

- ・令和4年12月の感染症法により保健所設置区市の予防計画策定が義務化され、国や都の計画と整合性を保ちながら策定
- ・新たな感染症の出現や感染症の発生、まん延に備えて必要な対策を定めたもの

## 2 法的な位置づけと記載すべき事項

- ・感染症法第9条及び第10条第14項に基づき策定

| 予防計画の記載事項                              | 保健所設置区市の記載事項 | 荒川区予防計画の該当箇所（項目） |
|--|--------------|------------------|
| 一 感染症発生の予防、まん延防止のための施策                 | ◎            | 第二章              |
| 二 感染症及び病原体等に関する情報収集、調査及び研究             | △            | 第二章              |
| 三 検査の実施体制及び検査能力の向上                     | ◎            | 第二章              |
| 四 医療提供体制の確保                            | 都予防計画で記載     |                  |
| 五 患者の移送のための体制の確保                       | ◎            | 第三章              |
| 六 医療提供体制等の確保に係る目標                      | ◎（一部）        | 数値目標             |
| 七 宿泊施設の確保                              | △            |                  |
| 八 外出自粛対象者の療養生活の環境整備                    | ◎            | 第三章              |
| 九 感染症の予防等の総合調整・指示の方針                   | 都予防計画で記載     |                  |
| 十 人材の養成及び資質の向上                         | ◎            | 第二章              |
| 十一 保健所の体制確保                            | ◎            | 第三章              |
| 十二 緊急時における感染症の発生の予防及びまん延の防止、検査の実施・医療提供 | ◎            | 第二章              |

◎…必須項目 △…任意項目

## 3 荒川区感染症予防計画の主な内容

| 予防計画の項目                      | 主な記載内容  | 主な取組み  |
|------------------------------|---|--|
| 第一章<br>基本的な考え方               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症リスクに的確に対処するため感染症の発生や拡大に備えた事前対応型の取組を推進</li> <li>・地域の医療関係機関等との平時からの連携体制として、荒川区新型コロナウイルス感染症対策推進協議会等を活用</li> <li>・区、保健所、その他関係機関の役割等</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症に関する普及啓発と情報提供</li> <li>・荒川区新型コロナウイルス感染症対策推進協議会の開催</li> <li>・東京都感染症対策連携協議会への参加</li> </ul>  |
| 第二章<br>感染症の発生予防及びまん延防止のための施策 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症発生動向調査、国内外の情報収集・分析及び区民への情報提供、積極的疫学調査、予防接種施策の推進など、感染症の発生予防及びまん延防止に必要な対策を実施</li> <li>・平時から保健所が地域における総合的な感染症の情報発信拠点としての役割を実行</li> <li>・総合的なマネジメントを担う保健師の配置、保健所職員の研修の積極的参加など人材育成を図り、保健所の体制を強化</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・定点把握の公表</li> <li>・HPVワクチン接種の費用助成</li> <li>・小児インフルエンザワクチン接種の費用助成</li> <li>・医療従事者等が保健所業務を支援するIHEAT等の研修参加</li> <li>・患者搬送訓練、防護服着脱訓練</li> </ul> |
| 第三章<br>新興感染症等発生時の対応          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健所が地域の感染症対策の中核的機関としての機能を的確に果たせるよう、速やかに発生状況に応じた業務執行体制へ切り替え</li> <li>・診療体制、自宅療養者への支援、感染症患者の移送など感染症に係る医療提供体制を確保</li> <li>・新型コロナウイルス対応において実施された対策を参考に、都と役割分担・連携しながら、状況に応じて一元的な実施体制や外部委託の活用等を実施</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症発生時における訪問診療看護事業所への外部委託</li> <li>・配食サービスやパルスオキシメーターの貸与</li> <li>・感染症発生時における早期のコールセンター立ち上げ</li> <li>・個人防護具等の衛生資材の備蓄</li> </ul>            |
| 第四章<br>その他感染症の予防の推進に関する施策    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・結核、性感染症など近年の流行状況や災害時の対応などの課題認識を踏まえ、感染症の特性にあわせた対策を一層推進</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・結核の感染拡大のリスクが高い集団への健康診断</li> <li>・災害時の備え</li> </ul>   |

## 4 数値目標

### 1 検査体制の数値目標

|         | ①流行初期<br>(発生の公表後3カ月まで)  | ②流行初期以降<br>(発生の公表後6カ月以内) |
|---------|-------------------------|--------------------------|
| 地方衛生研究所 | 都と連携し<br>都全体1,000件の中で対応 | 都と連携し<br>都全体1,000件の中で対応  |

### 2 保健所職員の研修・訓練の数値目標

- ・感染症有事体制に構成される保健所職員全員に対し、研修や訓練を実施した回数が年1回以上

### 3 即応可能なIHEAT要員の確保数

- ・過去1年以内にIHEAT研修を受講した人数（年度末時点）が10名以上

### 4 保健所の感染症対応を行う人員確保の数値目標（令和6年4月1日現在）

|         | 通常期 | ①流行初期<br>(発生の公表1ヶ月目途) | ②流行初期<br>(発生の公表1～3ヶ月) | ③流行初期以降<br>(発生の公表後6ヶ月以内) |
|---------|-----|-----------------------|-----------------------|--------------------------|
| 医師(人)   | 1   | 1                     | 1                     | 1                        |
| 保健師(人)  | 5   | 5                     | 8                     | 9                        |
| 看護師(人)  | -   | -                     | 2                     | 2                        |
| 事務(人)   | 8   | 8                     | 28                    | 47                       |
| 衛生監視(人) | 13  | 13                    | 25                    | 25                       |

【感染規模】  
都内100～300人  
区内1～10人  
(新型コロナウイルス第3波：  
R2.11月頃と同程度を想定)

【感染規模】  
都内1,000～3,000人  
区内30～50人  
(新型コロナウイルス第3波：  
R2.12月以降と同程度を想定)

【感染規模】  
都内10,000～30,000人  
区内100～500人  
(新型コロナウイルス第6波：  
R4.2月頃と同程度を想定)

1日あたりの従事職員数（会計年度任用職員を含む）